

# 決算補足説明資料

2013年度(2014年3月期)第3四半期 決算概要

2014年2月4日

阪急阪神ホールディングス株式会社

9042 <http://holdings.hankyu-hanshin.co.jp>  
( 営業情報 <http://www.hankyu-hanshin.co.jp> )

この資料には、現時点の将来に関する前提・見通しに基づく予測が含まれております。  
実際の業績は、様々な要因により記載の予想数値と異なる可能性があります。

# 目 次

I . 2013年度(2014年3月期) 第3四半期決算概要	.....	2
II . 2013年度(2014年3月期) 通期業績予想	.....	11

---

# ***I . 2013年度(2014年3月期) 第3四半期決算概要***

2013年度第3四半期決算 連結損益比較表(サマリー)

(単位：百万円)

科目	2013年度 3Q累計	2012年度 3Q累計	比較増減	増減率	備考
営業収益	510,626	498,050	+12,576	+2.5%	次ページ参照
営業利益	82,296	74,891	+7,404	+9.9%	
うち、減価償却費	40,245	40,245	△0	—	
営業外収益	6,771	6,343	+427	—	
うち、受取利息 及び配当金(A)	1,302	1,212	+89	—	
営業外費用	13,803	15,252	△1,448	—	
うち、支払利息(B)	12,543	14,211	△1,667	—	
うち、金融収支(A-B)	△11,241	△12,998	+1,757	—	
経常利益	75,263	65,982	+9,281	+14.1%	
特別利益	9,754	1,089	+8,664	—	固定資産売却益+7,934
特別損失	5,075	6,299	△1,223	—	
四半期純利益	50,313	38,866	+11,446	+29.5%	

# セグメント別営業成績(サマリー)

(単位：百万円)

	都市交通	不動産	エンタテインメント・コミュニケーション	旅行	国際輸送	ホテル	その他	調整額	連結
営業収益									
2013年度3Q累計	174,400	159,657	81,371	25,792	27,783	48,466	19,895	△26,740	510,626
2012年度3Q累計	186,769	134,783	77,017	28,017	27,389	49,136	20,902	△25,965	498,050
比較増減	△12,369	+24,873	+4,354	△2,225	+394	△670	△1,006	△774	+12,576
営業利益									
2013年度3Q累計	31,626	34,648	13,646	1,799	1,524	1,280	99	△2,329	82,296
2012年度3Q累計	30,690	28,654	10,831	4,472	1,607	827	△466	△1,725	74,891
比較増減	+936	+5,993	+2,814	△2,673	△83	+453	+566	△603	+7,404

書店事業外部化の影響(約△140億円)を除けば増収

都市交通事業において書店事業を外部化したことや、旅行事業において中国・韓国方面の集客が減少していること等による影響があるものの、不動産事業においてマンション分譲戸数が増加したことに加えて、エンタテインメント・コミュニケーション事業においてスポーツ事業が好調に推移したこと等により、連結全体で増収となった。

主に左記増収要因等により、増益となった。

※2013年度1Qより、報告セグメントを従来の「都市交通」、「不動産」、「エンタテインメント・コミュニケーション」、「旅行・国際輸送」、「ホテル」及び「流通」の6区分から、「都市交通」、「不動産」、「エンタテインメント・コミュニケーション」、「旅行」、「国際輸送」及び「ホテル」の6区分に変更している。

なお、比較期である2012年度3Qのセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成している。

## 都市交通セグメント

(単位：百万円)

	2013年度3Q累計	2012年度3Q累計	比較増減	増減率
営業収益	174,400	186,769	△12,369	△6.6%
営業利益	31,626	30,690	+936	+3.1%

書店事業を外部化したこと等により全体では減収。一方、阪急百貨店うめだ本店及びグランフロント大阪の開業等により、阪急線・阪神線が好調に推移したことから、電力料金値上げに伴い動力費が増加したものの、増益

## 不動産セグメント

(単位：百万円)

	2013年度3Q累計	2012年度3Q累計	比較増減	増減率
営業収益	159,657	134,783	+24,873	+18.5%
営業利益	34,648	28,654	+5,993	+20.9%

マンション分譲戸数の増加(+161戸：前第3四半期902戸→当第3四半期1,063戸※)、及び梅田阪急ビル 百貨店グランドオープン等により、増収・増益

※ 阪急不動産・阪急電鉄の持分戸数合計

## 《阪急電鉄》

	収 入				人 員			
	2013年度3Q累計 百万円	2012年度3Q累計 百万円	比較増減 百万円	増減率 %	2013年度3Q累計 千人	2012年度3Q累計 千人	比較増減 千人	増減率 %
定期外	46,107	45,675	+431	+0.9	234,534	232,422	+2,112	+0.9
定期	23,412	23,006	+405	+1.8	238,680	234,784	+3,896	+1.7
うち通勤	19,910	19,552	+358	+1.8	162,211	159,270	+2,941	+1.8
うち通学	3,501	3,453	+47	+1.4	76,468	75,513	+954	+1.3
合計	69,519	68,682	+837	+1.2	473,215	467,206	+6,008	+1.3

## 《阪神電気鉄道》

	収 入				人 員			
	2013年度3Q累計 百万円	2012年度3Q累計 百万円	比較増減 百万円	増減率 %	2013年度3Q累計 千人	2012年度3Q累計 千人	比較増減 千人	増減率 %
定期外	15,327	14,946	+380	+2.5	84,737	83,826	+911	+1.1
定期	8,235	8,117	+117	+1.4	85,573	84,217	+1,356	+1.6
うち通勤	7,330	7,222	+108	+1.5	66,935	65,852	+1,083	+1.6
うち通学	904	895	+9	+1.0	18,638	18,365	+273	+1.5
合計	23,562	23,064	+498	+2.2	170,311	168,043	+2,267	+1.3

- (注) 1. 収入は百万円未満を、人員は千人未満をそれぞれ切り捨てて表示している。
2. 阪急電鉄の定期外収入・人員には、P i T a P a 区間指定割引運賃適用の収入・人員を含んでいる。
3. 阪急電鉄・阪神電気鉄道ともに、第1種鉄道事業及び第2種鉄道事業の合計である。

## エンタテインメント・コミュニケーションセグメント

(単位：百万円)

	2013年度3Q累計	2012年度3Q累計	比較増減	増減率
営業収益	81,371	77,017	+4,354	+5.7%
営業利益	13,646	10,831	+2,814	+26.0%

阪神タイガースのクライマックスシリーズ進出や、宝塚歌劇雪組公演「ベルサイユのばらーフェルゼン編ー」、星組公演「ロミオとジュリエット」等が好調であったこと等により、増収・増益

## 旅行セグメント

(単位：百万円)

	2013年度3Q累計	2012年度3Q累計	比較増減	増減率
営業収益	25,792	28,017	△2,225	△7.9%
営業利益	1,799	4,472	△2,673	△59.8%

国内旅行は好調に推移したものの、海外旅行において、前年度の秋口以降、中国・韓国方面の集客が減少していること等により、減収・減益



## 国際輸送セグメント

(単位：百万円)

	2013年度3Q累計	2012年度3Q累計	比較増減	増減率
営業収益	27,783	27,389	+394	+1.4%
営業利益	1,524	1,607	△83	△5.2%

前年度からの為替変動の影響が海外法人の業績を押し上げたこと等により増収となったものの、欧州経済の停滞、中国における日系企業の輸出入の低迷や前年度にタイにおいて特需があったこと等により減益

## ホテルセグメント

(単位：百万円)

	2013年度3Q累計	2012年度3Q累計	比較増減	増減率
営業収益	48,466	49,136	△670	△1.4%
営業利益	1,280	827	+453	+54.8%

前年度の高知新阪急ホテル等からの撤退や、メニュー表示と異なった食材を使用していたことによる影響で、レストラン部門が低調に推移したこと等により減収となったものの、宿泊部門の需要が前年度から回復したこと等により増益

## 連結貸借対照表(資産)

(単位：百万円)

科 目	2013年度3Q末	2012年度末	比較増減	備 考
(資産の部)				
流動資産	255,692	274,773	△19,080	受取手形及び売掛金 △18,495
固定資産	2,016,754	2,006,234	+10,519	投資有価証券 +18,238
資産合計	2,272,446	2,281,007	△8,561	

# 連結貸借対照表(負債／純資産)

(単位：百万円)

科 目	2013年度3Q末	2012年度末	比較増減	備 考
<b>(負債の部)</b>				
流動負債	503,281	578,140	△74,859	
固定負債	1,140,795	1,129,712	+11,082	
負債合計	1,644,076	1,707,853	△63,776	
<b>(純資産の部)</b>				
株主資本	593,155	552,400	+40,754	四半期純利益50,313－支払配当9,500 など
その他の包括利益累計額	20,274	6,999	+13,275	その他有価証券評価差額金+11,675 など
新株予約権	208	112	+96	
少数株主持分	14,731	13,642	+1,089	
純資産合計	628,370	573,154	+55,215	
負債純資産合計	2,272,446	2,281,007	△8,561	

	2013年度3Q末	2012年度末	比較増減
借入金	904,918	991,983	△87,065
社債	122,000	122,000	—
コマーシャルペーパー	20,000	—	+20,000
リース債務	11,971	12,649	△678
連結有利子負債	1,058,889	1,126,633	△67,743

	年間配当金		
	中間配当	期末配当	合計
2013年度	2.5 円	2.5 円 (予想)	5.0 円 (予想)
2012年度	— 円	5.0 円	5.0 円

営業キャッシュ・フローを有利子負債の返済に充当したことによる減少 など

当期より再開

---

## ***Ⅱ.2013年度(2014年3月期) 通期業績予想***

(単位：億円)

科目	2013年度 今回発表予想	2013年度 5月発表予想	比較増減	増減率	備考
営業収益	6,800	6,700	+100	+1.5%	鉄道事業で阪急線・阪神線が当初の想定を上回る見込みであることや、スポーツ事業が好調に推移していることを踏まえ、前回(2013年5月)発表予想から上方修正
営業利益	900	840	+60	+7.1%	
うち、減価償却費	553	553	—	—	
経常利益	780	720	+60	+8.3%	
うち、受取利息及び配当金(A)	13	10	+3	—	
うち、支払利息(B)	167	172	△5	—	
うち、金融収支(A-B)	△154	△162	+8	—	
当期純利益	460	420	+40	+9.5%	繰延税金資産を保守的に取り崩すことにより税金費用の増加を見込む

設備投資	912	912	—	—	
------	-----	-----	---	---	--

2013年度業績予想修正  
セグメント別の変動要因

(単位：億円)

上段：営業収益 下段：営業利益	2012年度 通期実績 ①	2013年度 当初予想 (5月発表) ②	2013年度 今回予想 ③	=③-①	=③-②	営業利益予想の主な変動要因
合計	6,824	6,700	6,800	△24	+100	P.12参照
	879	840	900	+21	+60	
[主な内訳]						
都市交通	2,493	2,303	2,314	△179	+11	鉄道運輸収入の増加等
	372	349	362	△10	+13	
不動産	1,983	2,070	2,128	+145	+58	
	373	363	367	△6	+4	
エンタテインメント・ コミュニケーション	1,027	1,057	1,076	+49	+19	阪神タイガースのクライマックスシリーズ進出及び宝塚 歌劇の観劇人員増加等
	112	99	123	+11	+24	
旅行	341	349	330	△11	△19	韓国方面の低迷に加え、政情不安によるエジプト・ トルコ方面の集客減少等
	25	25	12	△13	△13	
国際輸送	367	360	370	+3	+10	
	18	20	20	+2	—	
ホテル	647	642	635	△12	△7	レストラン部門の低調等
	5	9	8	+3	△1	

※ セグメント別の内訳のうち、2012年度実績については、新セグメントの区分に基づき組み替えた数値である。

《阪急電鉄》

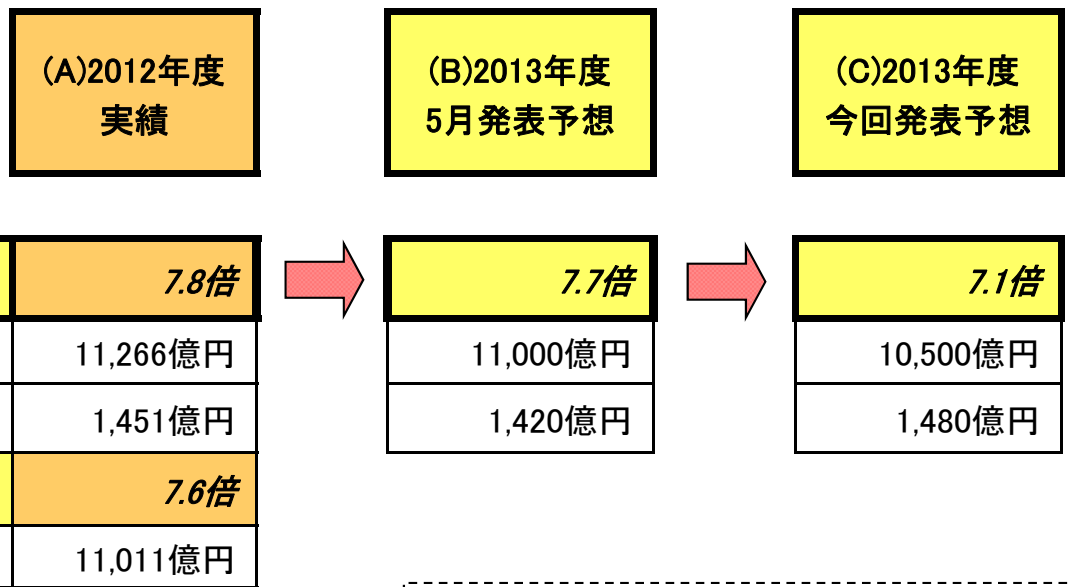
	収 入				人 員			
	2013年度予想 百万円	2012年度実績 百万円	比較増減 百万円	増減率 %	2013年度予想 千人	2012年度実績 千人	比較増減 千人	増減率 %
定期外	61,076	60,749	+326	+0.5	310,290	308,716	+1,573	+0.5
定期	31,219	30,391	+828	+2.7	314,787	306,607	+8,179	+2.7
うち通勤	26,792	26,076	+715	+2.7	217,968	212,194	+5,773	+2.7
うち通学	4,427	4,314	+113	+2.6	96,819	94,413	+2,405	+2.5
合計	92,296	91,141	+1,155	+1.3	625,077	615,324	+9,752	+1.6

《阪神電気鉄道》

	収 入				人 員			
	2013年度予想 百万円	2012年度実績 百万円	比較増減 百万円	増減率 %	2013年度予想 千人	2012年度実績 千人	比較増減 千人	増減率 %
定期外	20,040	19,669	+371	+1.9	111,103	110,385	+717	+0.6
定期	10,928	10,740	+187	+1.7	112,839	110,748	+2,090	+1.9
うち通勤	9,775	9,610	+165	+1.7	89,106	87,519	+1,586	+1.8
うち通学	1,152	1,130	+22	+2.0	23,733	23,228	+504	+2.2
合計	30,969	30,410	+559	+1.8	223,942	221,133	+2,808	+1.3

- (注) 1. 収入は百万円未満を、人員は千人未満をそれぞれ切り捨てて表示している。  
 2. 阪急電鉄の定期外収入・人員には、P i T a P a 区間指定割引運賃適用の収入・人員を含んでいる。  
 3. 阪急電鉄・阪神電気鉄道ともに、第1種鉄道事業及び第2種鉄道事業の合計である。

# 2013年度業績予想修正 経営管理指標と有利子負債



[注]EBITDAは「営業利益+減価償却費+経営統合に伴うのれん償却額」で算出。